

2019 年 5 月 13 日

2019 年 4 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判はテキスト関連、住宅向けチラシ等に加え、改元関連の動きも見られ前年を若干上回った。

（前年比 101.0%）

巻取は株主総会招集通知、生損保約款関連の動きが集中し前年を大幅に上回った。

（前年比 127.3%）

再生紙は平判・巻取ともに官公庁関連の仕事が前年より多く確保でき前年を上回った。

（前年比 再生上質平判 105.8% 再生上質巻取 101.5% 再生上質計 104.0%）

（前年比 印刷用紙 A 106.5%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保等で動きがあったものの全体的に仕事が少なく、グロス紙、マット紙、再生紙とも前年を下回った。

巻取は生損保、大学募集案内、中元カタログ等で動きが見られ、また大口スポットもあり巻取マット紙を中心に前年を上回った。

（前年比 平判 97.4% 巻取 101.7% 全体 98.3%）

<A3 コート>

不動産、学習塾、量販店チラシ等定期案件の動きはあったものの、巻取品の品薄の影響から新規案件及び部数の減少等により前年を下回った。

（前年比 平判 97.8% 巻取 95.9% 全体 96.6%）

<ノーカーボン紙>

改元の影響もあり生損保、官庁関連の案件も好調に取り込め巻平ともに前年を大きく上回った。

（前年比 平判 108.4% 巻取 117.0%）

<上質フォーム>

3 月同様供給不足の影響と連休後にずれ込んだ案件もあり前年を大きく下回った。

（前年比 89.9%）

<包装用紙>

特殊両更は事務用封筒や官庁関係の封筒での目立った動きもなく、その他全般的に低調だった為前年を大きく下回った。

(前年比 79.3%)

軽包装は雑貨の小袋や製本会社向けの雑包装用途の動きはあったが、全体を押し上げるには至らず前年を下回った。

(前年比 90.1%)

片艶晒は金融向け封筒用途や専門店の手提げ用途で動きはあったが前年を下回った。

(前年比 91.8%)

両更晒は督促状封筒、役所向け封筒用途での動きはあったが前年を下回った。

(前年比 97.1%)

純白ロールはGWに向けての生花店向け包装用途での動きはあったが、全体を押し上げるには至らず前年並みであった。

(前年比 99.9%)

包装紙全体では仕事量が少なく、包装紙合計で 92.8%と前年を下回った。

<板紙>

インバウンドも一服した感があるがコート白ボールは食品・化粧品を中心に堅調で、一部スポットの大口案件もあり全体的には昨年を上回った。

(前年比 102.3%)